

# 建設産業担い手確保・育成に係る 広報活動について

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム  
建設産業人材確保・育成推進協議会/建設産業戦略的広報推進協議会  
(事務局:(一財)建設業振興基金)

若年者の建設産業への入職促進を目的として、建設産業担い手確保・育成コンソーシアムと建設産業人材確保・育成推進協議会/建設産業戦略的広報推進協議会との連携や、国土交通省からの支援等により、以下のような幅広い広報活動を展開中。

※建設産業担い手確保・育成コンソーシアム、建設産業人材確保・育成推進協議会/建設産業戦略的広報推進協議会  
(共に事務局：(一財)建設業振興基金)

## 1. WEBに関する取組

- (1) 「建設現場へGO!」の拡充-----1ページ
- ☆ (2) 「18歳のハローワーク」-----2ページ
- (3) 「建設産業で働く女性がカッコイイ」-----3ページ
- ☆ (4) 「建設現場へGO!」のロゴマークの活用-----4ページ
- ☆ (5) 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム専用WEBサイト-----5ページ
- ☆ (6) 担い手確保・育成取り組み事例集-----6ページ
- ☆ (7) メーリングリストによるWEBサイト更新情報の発信-----7ページ
- ◎ (8) 電子ライブラリー-----8ページ

## 2. 工業高校キャラバンの開催-----9ページ

## 3. 子ども霞が関デーへ参加-----10ページ

## ☆◎4. 建設業界ガイドブック等による情報提供-----11ページ

## 5. パネル展示の開催-----11ページ

## 6. 作文コンクールの実施-----11ページ

(注)「☆」印 建設産業担い手確保・育成コンソーシアムの予算により実施

「◎」印 国土交通省からの受託により実施

# (1) ホームページ「建設現場へGO!」の拡充

本WEBサイトは、建設産業団体、行政機関、建設企業等が個々に広報している若年入職促進等に資する様々な情報に対するリンクや、コンソーシアムが制作したコンテンツ等を掲載すること等により、若年者やその保護者、教育関係者等が建設産業を知る際のポータルサイト（平成25年12月開設）として活用。

平成27年度は、現場見学会等に応じる企業・行政機関、建設産業団体等を紹介するコンテンツを構築することとし、その他コンテンツは随時拡充予定。

※建設現場へGO!等の総アクセス件数（平成27年3月）：約22,000件/月（内コンソーシアムweb：7,000件）  
 （参考）対前年同月比2.7倍の増加（平成26年3月：約6,000件/月）

## 【建設現場へGO!】



「見る」「知る」「働く」  
 をキーワードに建設産業の  
 さまざまな情報を建設産業  
 が一体となって提供

コンテンツ  
 の拡充

### 【18歳のハローワーク】



### 【女性がカッコイイ】







## (4) 「建設現場へGO!」のロゴマークの活用 (平成26年11月公開)

「建設現場へGO!」をより多くの若年者やその保護者、教育関係者等に見てもらうことを目的として、ロゴマークを活用したバナーを制作し、関係機関等のWEBサイトに掲載して頂くことで、相互リンク、ネットワーク化を図る。

また、関係機関におけるイベント、ポスター、チラシ、名刺等に印字してもらうためのロゴマークを制作・提供。

### <ロゴマーク例>

スマートフォン等でQRコードを読み取ると「建設現場へGO!」が開く



### (バナー展開例) 関東地方整備局ホームページ

# (5) 「建設産業担い手確保・育成 コンソーシアム専用WEBサイト」(平成26年10月公開)

本WEBサイトは、コンソーシアムの活動に関係各機関に周知することを目的として、コンソーシアムの活動内容等を掲載。  
平成27年度は、コンソーシアム構成員等における若年入職促進活動の事例等、講師データベース等を公開予定。

**建設産業 担い手確保・育成 コンソーシアム**

NEWS TOPICS

2014.10.21  
建設産業担い手確保・育成コンソーシアム 運用開始のお知らせ

2014.10.20  
建設産業担い手確保・育成コンソーシアム 企画運営会議を開催

設立趣旨

**若年者の入職促進、  
育成のための事業を具体化し  
実行していく**

コンソーシアムは、建設産業の担い手確保・育成について、実績、知見、能力を有し、今後の担い手確保・育成を推進していく意志を有する者により構成します。  
建設産業団体、関係行政機関、職業訓練校、教育機関等の関係機関が一体となって、建設産業における担い手確保・育成に取り組んでいくための体制を整備するとともに、若年者の入職促進、育成のための事業を具体化し、実行することを目的として平成26年10月29日に設立しました。

建設産業 担い手確保・育成コンソーシアム  
事務局：一般財団法人 建設産業振興基金 構造改善センター  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館6階  
TEL: 03-5473-4572 FAX: 03-5473-4534

事業内容

**担い手確保・育成に向け  
具体化された事業を実行して行く**

コンソーシアムは、設立から概ね5年間を目途に活動することとし、平成26年度下半期～平成27年度末までに取り組む事業を「建設産業担い手確保・育成アクションプログラム(第1版)」として取りまとめました。  
本プログラムでは、担い手不足が特に懸念される野丁場系の技能者に当面の重点を置くこととし、必要に応じて所要の追加・修正を行うとともに、更なる事業展開について検討を進めてまいります。

事業内容

- ① 地域連携ネットワーク等担い手確保・育成のためのネットワーク構築
- ② 教育訓練等基盤の充実・強化
- ③ 職業訓練校ネットワークの構築

活動履歴

2014年10月21日  
**建設産業担い手確保・育成コンソーシアムWEBサイトをリリース**

建設産業担い手確保・育成コンソーシアムの設置にあたり、ホームページを開設しました。  
ホームページでは、アクションプログラム(第1版)に基づく事業の実進状況をはじめ、コンソーシアムに関連する各種情報をタイムリーに提供してまいります。

2014年10月20日  
**建設産業担い手確保・育成コンソーシアム企画運営会議を開催**

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム企画運営会議において、コンソーシアム規約、アクションプログラム(第1版)、平成26年度事業予算が承認され、コンソーシアムを設立しました。

<配布資料>

- 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム構成員
- 企画運営会議委員名簿
- コンソーシアム設立趣旨
- コンソーシアム規約
- アクションプログラム(第1版)
- 執務印
- 承認書

- <H27年度制作予定>**
- ① コンソーシアムや地域ネットワーク等の活動報告
  - ② 担い手確保・育成取組事例集
  - ③ 講師データベース
  - ④ 入職促進に係る基礎資料(高等学校、職業訓練校等の状況など)

## (6) 担い手確保・育成取り組み事例集

全国の建設産業団体が実施した担い手確保・育成に資する取り組みをWEBサイト上に構築した報告フォームに入力、併せて写真等を登録いただくことにより、事例集として整備。本情報を蓄積の上、関係機関の間で情報共有することにより各者が実施する取り組みの参考となることを目指す。

また、(一社)建設産業専門団体連合会の「職人さんミュージアム」等、様々な取り組みを紹介している既存WEBサイトとの連携(相互リンク)を図る。

### 【主な機能】

- ① 担い手確保・育成コンソーシアムホームページ内に、実施した取り組みを事例として登録。
- ② 取り組み事例別に検索し、絞り込みをすることができる。  
(検索方法：キーワード、「実施エリア」、「取り組み区分」、「対象者」)
- ③ 取り組み事例には、実施した目的や経緯、その内容、資料や写真、助成金の活用状況などを入力、登録することができる。
- ④ 入力した取り組み事例は、プリントアウトすることで、事業報告書や団体のPR資料としても活用。



## (7) 「メーリングリスト」によるWEBサイト更新情報の発信

「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム専用WEBサイト」や「建設現場へGO!」等の情報の更新がされた際に希望者（メールアドレス登録者）に通知（自動メール発信）。  
 なお、一般向けの情報配信サービスも検討していく予定。



### 更新情報をメールで通知

新規コンテンツの登録やイベントの案内、ホームページのトピックス等をお知らせします。

### 更新情報をメールで通知

ホームページのトピックスや、各団体が登録する取り組み事例の更新等をお知らせします。



建設現場へGO!



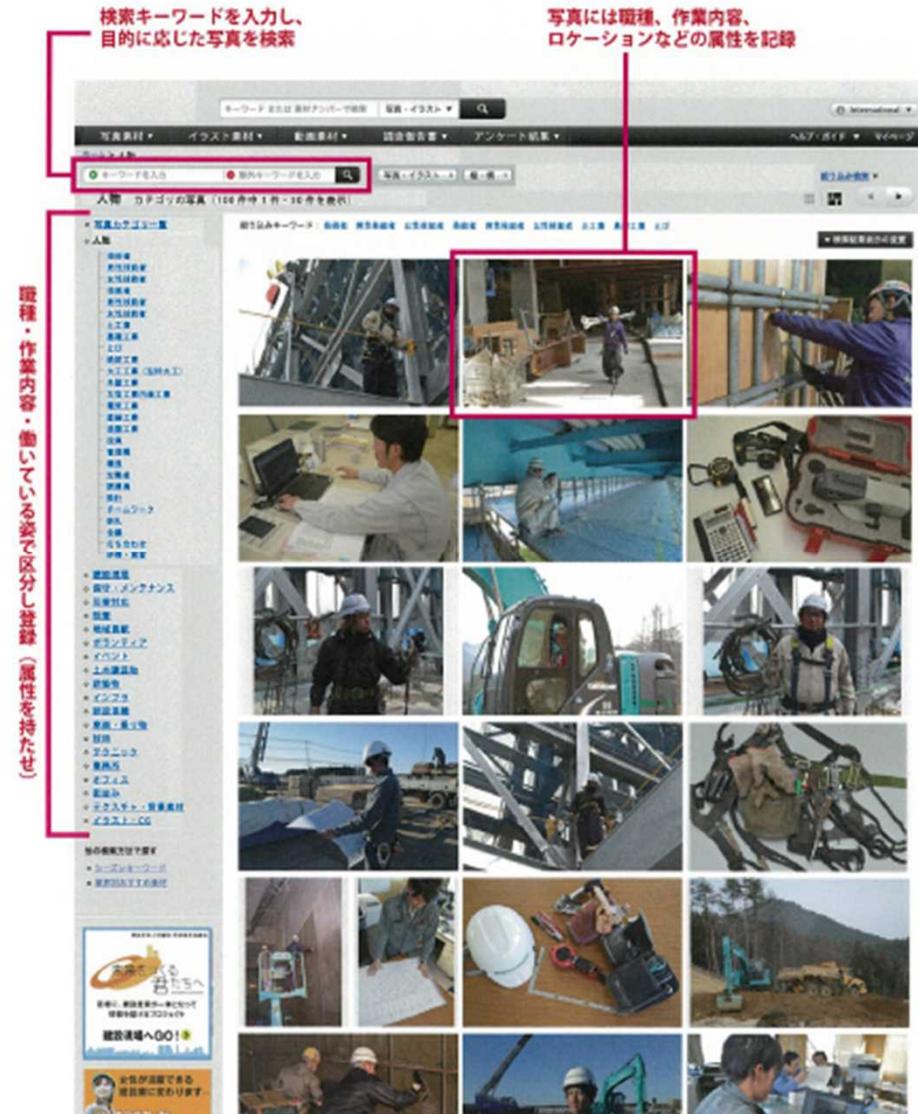
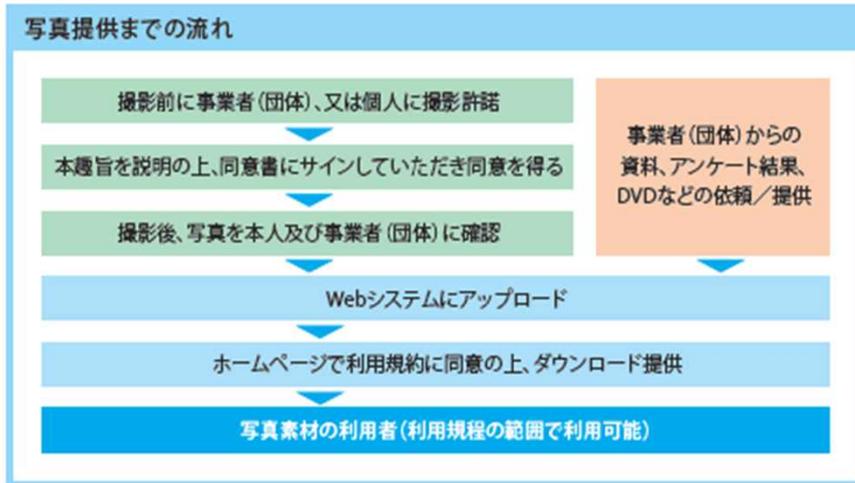
建設産業 担い手確保・育成コンソーシアム

## (8) 電子ライブラリー<写真、イラスト、動画>

各地域の建設産業団体、教育機関などにおいて、若年者入職促進活動のためのホームページやパンフレット・資料作成に当たり活用できるよう、写真やイラスト、動画素材を提供できる電子ライブラリーをインターネット上に構築。

職種や作業内容ごとに区分して登録することで、目的に応じた素材を簡単に検索できる仕組みとし、全ての素材についてフリー（無料）で提供を行う。

（当面は、人材協等関係団体に限定）



## 2. 工業高校キャラバンの開催

業界・外部有識者・行政が一体となって工業高校生にface to faceで建設業の役割や魅力などを直接語りかけ交流する工業高校キャラバンを開催。平成26年10月末から年末にかけて関東の複数校を対象とし、現場で働く、技術者、技能者の方々に来てもらい建設業の魅力を伝えていただいた。

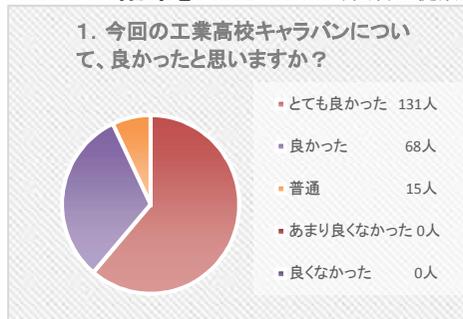
平成27年度は、工業高校に加えて、普通科高校、小中学校での実施を予定。

### 【平成26年度実施状況】

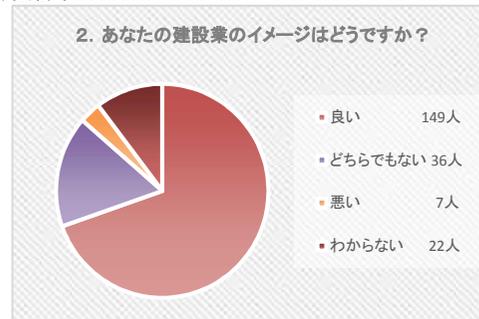
地区	高校名	学科名	対象 学年・人数	開催日	協力会社
埼玉	熊谷工業	建築科	2年生 35人	10月30日	(株)大林組 (株)鈴木組
		土木科	1年生 40人	12月11日	清水建設(株) 大綱建設(株)
	大宮工業	建築科	1年生 80人	12月16日	(株)大林組 (株)鈴木組
東京	田無工業	都市工学科	1年生 38人 2年生 25人	12月19日	(株)JM 等
千葉	東総工業	建設科	1年生 40人	11月17日	(株)大林組 (株)鈴木組



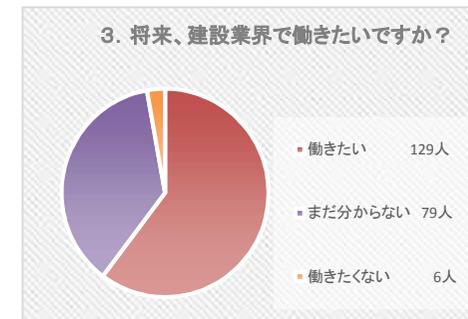
### 【アンケート結果】 1～3について、回答生徒数214人、回答率100%



約9割が「とても良かった」「良かった」と回答



約7割が「良い」と回答



約6割が「働きたい」と回答

### 3. 「子ども霞が関見学デー」へ参加

毎年夏に小・中学生を対象とし府省庁等で開催しており、ものづくりの素晴らしさを体験してもらうと同時に、建設業の社会的な役割を理解してもらうため、建設機械の試乗体験や左官、造園職人の指導のもと体験型プログラムを実施。

平成27年度についても、引き続き参加予定。

実施予定日：平成27年7月下旬



#### 【平成26年度実績】

実施日：平成26年8月6日～7日

来場者数：2,030名

※国交省として初の2,000名超え。前年比3割増

#### 【省庁別来場者数ランキング】(前年比)

1位	農水省	4,771名	-25%
2位	文科省	3,960名	+20%
3位	経産省	3,221名	+50%
4位	国交省	2,030名	+30% (昨年第5位)

#### 【建設産業戦略的広報推進協議会 実施プログラム】

○職人さんになってみよう!

〈協力団体〉

(一社)日本左官業組合連合会、東京都左官組合連合会

(一社)日本造園組合連合会、(一社)日本アンカー協会

○乗ってみよう! 「はたらくくるま」!

〈協力団体〉

(一社)全国建設業協会、(一社)東京建設業協会、西松建設(株)

○職人さんのお仕事紹介パネル展

〈協力団体〉

全国基礎工業協同組合連合会、(一社)日本塗装工業会

○参加者へのグッズ配布

〈協力団体〉

(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)東京建設業協会、東日本建設業保証(株)、勤労者退職金共済機構建設業退職金共済事業本部



## 4. 「建設業界ガイドブック」による情報提供

1998年以来、各工事業（33職種）の仕事内容を紹介した冊子として、工業高校、業界関係者等へ広く配布しており、平成26年度は28,500部を発行。

平成27年度は、「建設業界ガイドブック」の内容を刷新し、充実を図るとともに、「建設業界ガイドブック概要版（「ニッポンをつくる人たち、まもる人たち」）」を新たに制作。

## 5. パネル展示の開催

平成27年3月14日～18日に第3回国連防災世界会議（仙台）が開催され、（一社）宮城県建設業協会と共催で災害対応にあたっている建設業を紹介するパネルを展示。

開催期間中は、建設業の重要性や役割を説明したリーフレットや建設業について、理解を得られるよう「（一社）北海道建設業協会」や「（一社）京都府建設業協会」が作成したマンガなどを配布。

## 6. 作文コンクールの実施

建設業の従事者を対象とした「私たちの主張」及び工業高校の建築学科及び土木学科の在校生を対象とした「高校生の作文コンクール」を実施。

平成27年度について、「私たちの主張」では、新たに建産連、建専連を通じた募集を行うことにより、技術者だけでなく、技能者からの応募の拡大を図る。

（平成27年度）

応募期間：私たちの主張：平成27年4月20日～6月19日

高校生の作文コンクール：平成27年5月18日～7月17日

（平成26年度実績）

応募期間：平成26年5月19日～7月18日

応募数：私たちの主張 428作品

高校生の作文コンクール 1,082作品

選定結果：国土交通大臣賞各2名、土地・建設産業局長賞各3名、佳作各10名

表彰式等：10月、国土交通大臣賞受賞者について、国土交通大臣室にて表彰。同日に行われた優秀施工者国土交通大臣顕彰式典において、受賞者による作品の朗読

